

## 標準仕様書

---

X-LINE

---

品 名            アクセスコントローラー

---

型 式            XA-08

---

\*\*\* 目 次 \*\*\*

1.	概要	1
2.	構成	1
2-1.	システム	1
2-2.	機器構成	2
3.	機器の特徴・概要	3
3-1.	入退室の管理	3
3-2.	扉・電気錠の管理	4
3-3.	履歴の管理	4
3-4.	他の外部機器との連動	5
3-5.	その他	5
4.	動作モードについて	6
4-1.	動作モード1	6
4-2.	動作モード2	7
4-3.	動作モード4	8
4-4.	動作モード5	9
5.	警報について	9
5-1.	警報の種類	9
5-2.	警報発生時の動作	9
6.	アンチパスバック機能	10
7.	固定コード照合	10
8.	装置仕様	11
9.	系統図	12
9-1.	スタンドアロン	12
9-2.	システム全体	13
10.	改訂履歴	14

## 1. 概要

本装置は、扉の入退の管理を行います。

出入口に設置するリーダーにより、利用者の入退許可/制限の認証を行い、電気錠を制御します。また、その際の操作履歴の保存を行います。

管理用パソコンと本装置との接続にはLAN (Ethernet) を使用します。

専用システムソフトにより詳細な出入管理が可能です。

## 2. 構成

### 2-1. システム

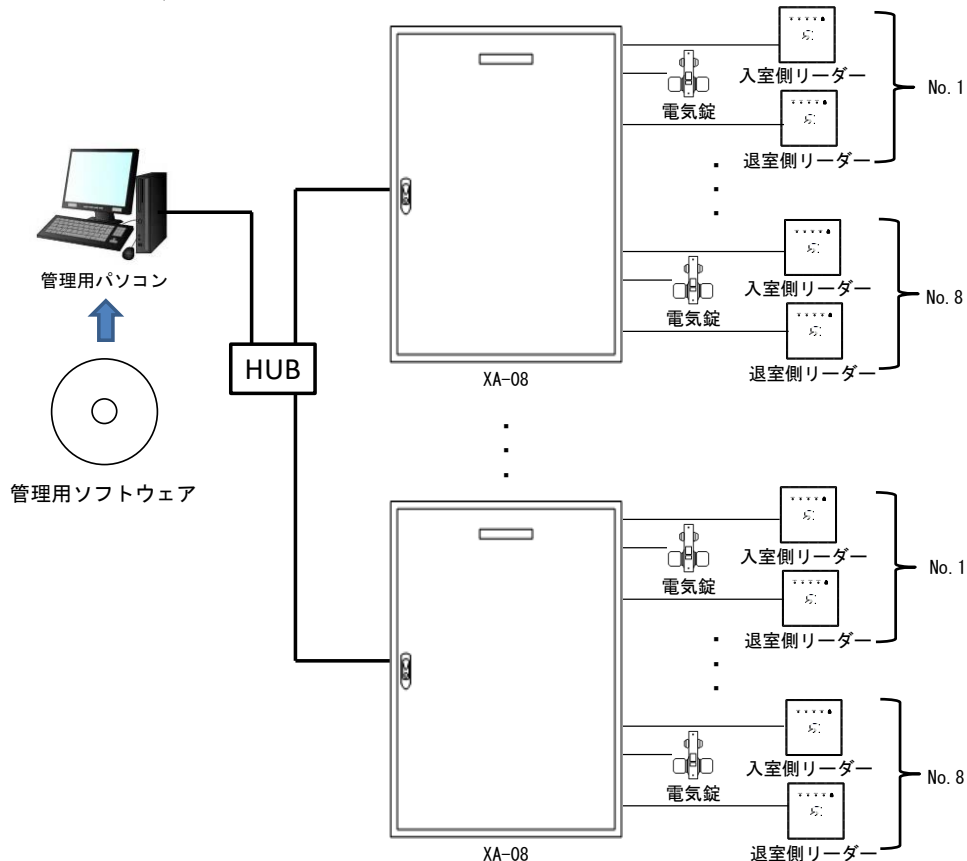


図2-1. システム構成

接続可能な機器構成を以下に示します。

- (1) アクセスコントローラー1台ごとに8ゲートの出入管理が可能です。
- (2) 1ゲートごとに入室側及び退室側1台ずつ、計16台のリーダーが接続可能です。
- (3) 1ゲートごとに操作表示器が1台接続可能です。
- (4) 管理用ソフトウェア(X-Manager)を使用することにより、詳細な出入管理が可能となります。
- (5) 1台の管理用パソコンに対して、LAN通信で240台まで接続・制御が可能です。

## 2-2. 機器構成

### (1) アクセスコントローラー

- 1) アクセスコントローラー XA-08
- 2) 1台のXA-08にて、8ゲートの管理が可能です。

### (2) 接続リーダー

1台のXA-08にて、各ゲート入室側/退室側に1台ずつ計16台のリーダーが接続可能です。

#### 1) ICリーダー

- a. XR-01W(T)
- b. XR-01B(T)

### (3) 対応電気錠

- 1) 1台のXA-08にて、8台の電気錠を制御可能です。
- 2) 下記の電気錠に対応しています。

表2-1. 対応電気錠

錠種タイプ	電気錠の種類	メーカー
通電時解錠型 電気錠	ALT/ALTA/AMT/AMTA/AUT/AUTA/ALGT50 EST/ESTP/ELT/ELTP/ESB/ELB/ESM/ELM /EXM/CMT 6210/6220/6110/6120	美和ロック(株) (株)ゴール  (合)堀商店
通電時解錠型 電気ストライク	AST ACS-14 3103	美和ロック(株) (株)ゴール (合)堀商店
通電時施錠型 電気錠	ALR/ALRA/AMR/AMRA/ALGR50/AUR/AURA ESR/ELR/ESRP/ELRP/CMR 6212/6222/6112/6122	美和ロック(株) (株)ゴール (合)堀商店
通電時施錠型 電気ストライク	ASR ACS-13 3123	美和ロック(株) (株)ゴール (合)堀商店
モーター式電気錠	AL3M/AFF EM/AHEM/SXE	美和ロック(株) (株)ゴール
瞬時通電型電気錠 (有極)	ALA/ANS/ALG50/AUS EXS/EZS/ESS/ELS 6211/6221/6111/6121	美和ロック(株) (株)ゴール (合)堀商店
瞬時通電型電気錠 (無極)	ALS/AMS	美和ロック(株)
自動扉型	AD	
接点出力型	ADN/フラPPERゲート	

### 3) 下記の接点出力に対応しています。

- a. 自動扉 (開扉信号入力あり)
  - b. 自動扉 (開扉信号入力なし)
  - c. フラPPERゲート (1方向1ゲート)
- ※対応機種については、ご相談ください。

- (4) オプション
  - 1) 停電補償
    - a. UPSにより、停電時30分の動作を補償します。
    - b. 専用UPSは、内蔵可能です。
  - 2) 管理用ソフトウェア X-Manager
    - a. 管理用パソコンとの通信は、LANにて接続されます。
    - b. 1台の管理用パソコンに対してXA-01が240台まで接続が可能となります。
  - 3) ハンディライター
    - a. ハンディライターを使用することにより、アクセスコントローラーの各種設定・個人データの登録・削除が可能である。

### 3. 機器の特徴・概要

#### 3-1. 入退室の管理

- (1) 管理人員
    - 1) 個人コードの桁数に関わらず、最大5万名の登録が可能です。
  - (2) 個人コード
    - 1) 個人を識別するコードは1~20桁まで、任意の桁数設定が可能です。
  - (3) 入退室時間制限機能
    - 1) 入室・退室可能な時間帯を設定する事が可能です。
    - 2) 上記設定を個人・ゲートごとに反映させる事が可能です。
  - (4) 休日設定機能
    - 1) 入退室時間制限機能・連続解錠時間設定機能は、曜日・休日・特日8種類ごとに設定が可能です。休日・特日の設定は、カレンダーに設定が可能です。
    - 2) カレンダーは西暦2089年まで対応し、うるう年の計算を自動的に行います。
  - (5) 有効期限チェック機能
    - 1) 個人ごとにカードの有効期限が設定でき、利用可能日の制限が可能です。
  - (6) アンチパスバック機能
    - 1) 個人認証せずに入室又は退室した場合、対象の扉及び隣接した扉に対して退室又は入室を不許可とする制限を付けることが可能です。
    - 2) 管理用ソフトウェア(X-Manager)を介してシステム全体、特定エリアのみアンチパス制御を行うことが可能です。※通信断時はアクセスコントローラーから直接救済処置(解錠操作)を行う必要があります。
    - 3) 管理用ソフトウェア(X-Manager)を介さないで、XA-08が管理する複数の扉を関連付けてアンチパスバック制限を行うことが可能です。
  - (7) ルートチェック機能
    - 1) 特定のゲートを通行しないと、目的のゲートが通れないなどの制限をかけることが可能です。
  - (8) ツーパーソン機能
    - 以下の2つの2人照合方法をゲート単位で設定することが可能です。
    - 1) 常時2人照合
      - 常に2人照合を行わないと入退室を不可にすることが可能です。
    - 2) 最初入室、最終退出時のみ2人照合
      - a. 対象扉の在室人数が0人時の入室(最初入室)と在室人数が2人時の退室(最終退室)で、2人照合を行わないと通行不可とする制限をかけることが可能です。
      - b. a.の条件以外は、1人照合での通行が可能です。
- ※共連れにより部屋に1人残った場合、遠隔操作で救済処置(解錠操作)を行う必要があります。

- (9) フラッパーゲート制御機能
  - 1) 解錠時間は00.1~99.9秒の0.1秒間隔で設定が可能です。
  - 2) 不正通行を検知し履歴に残すことが可能です。
  - 3) フラッパーゲート設定の回線は以下の制限があります。
    - a. 警備機能が使用できません。
    - b. ループ入力は不正通行入力となります。
- (10) 禁止登録運用
  - 1) 登録してあるカードを利用不可とする運用も可能です。
- (11) リーダー読取禁止機能
  - 外部からの接点信号により、リーダーによる照合を禁止することが可能です。
- (12) 個人ごとに以下の照合操作の可/不可の設定が可能です。
  - 1) アンチパスバック設定
    - アンチパスバックの制限の有効、無効を設定することが可能です。
  - 2) 警備解除権限設定
    - 警備セット時に、警備解除の権限のあり・なしを設定することが可能です。
  - 3) リーダー読取禁止設定
    - リーダーが読取禁止状態で、操作の可・不可を設定することが可能です。
  - 4) 監視カード設定
    - 監視カードと設定することで、入退室時の発生データで監視カードであるかが分かるようになります。

### 3-2. 扉・電気錠の管理

- (1) 動作モードの選択
  - 1) ゲートごとに動作モードを選択する事が可能です。
  - 2) 動作モードの内容については、『4. 動作モードについて』を参照願います。
- (2) 連続解錠時間設定機能
  - 電気錠を常時解錠させておくタイマーを設定する事が可能です。  
(動作モード2を除く)
- (3) 開扉警報機能
  - 扉の閉め忘れを防止する為の、警報を発生する事が可能です。

### 3-3. 履歴の管理

- (1) データの保存件数
  - 1) 履歴データ10,000件まで保存することが可能です。
  - 2) 保存可能件数を越えた場合は、古いデータから消去し、最新の10,000件が保存されます
- (2) データの参照
  - 1) 保存している履歴データから任意の期間を指定し、LCDに表示して確認する事が可能です。
  - 2) 専用システムソフト(X-Manager)により、詳細な履歴データの管理が可能です。

### 3-4. 他の外部機器との連動

- (1) 警報出力
  - 1) 警報発生時に、警報信号を出力することが可能です。
- (2) 警備セット、発報出力
  - 1) モード4での運用では、警備セットを行う事が可能です。
  - 2) センサーなどと接続することにより、ループ監視が可能です。
  - 3) 警備セット中には、警備信号を出力し、異常発生（ループ異常）時には、発報信号を出力することが可能です。
- (3) 一斉解錠入力
  - 1) 火報機器などからの接点出力を受け、XA-08が制御する扉を一斉に解錠することが可能です。
  - 2) 一斉解錠入力が入っても解錠しない扉を設定することが可能です。
- (4) リーダー読取禁止入力
  - 1) 接点出力を受け、リーダー操作による個人認証を禁止させることが可能です。

### 3-5. その他

- (1) 保守カウンター
  - 1) 電気錠制御とリーダー操作の回数をカウントし、定期点検や機器交換時期の目安に利用可能です。（保守カウンター機能）
- (2) 停電補償
  - 1) UPSを内蔵することにより、30分間の停電補償が可能です。

#### 4. 動作モードについて

動作モードの設定により、電気錠の動作を選択可能です。

##### 4-1. 動作モード1

(1) リーダーを操作または手動により電気錠が解錠し、扉の開閉後または一定時間経過後に、自動で施錠します。

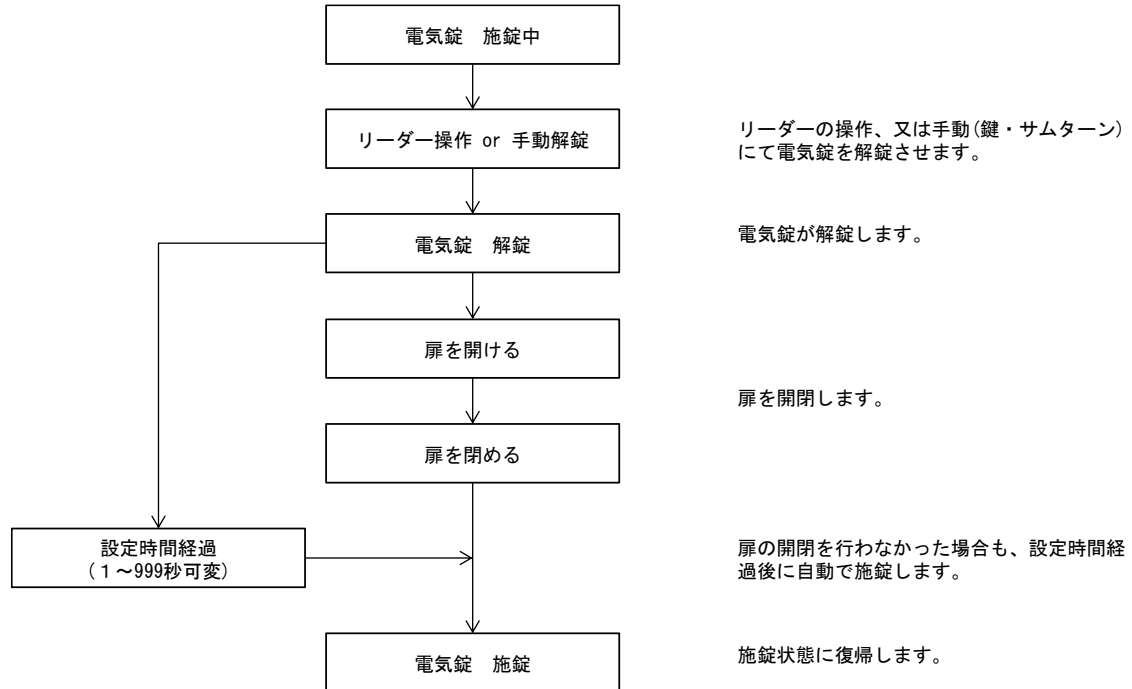


図4-1. 動作モード1

(2) 下記の状態中は、扉の開閉が行われても自動施錠しません。

- 1) 連続解錠時間帯
- 2) 外部解錠入力中
- 3) 管理用パソコンからの連続解錠操作中



## 4-2. 動作モード2

(1) リーダーを操作する度に、電気錠が解錠→施錠→解錠→施錠・・・と繰り返される動作です。

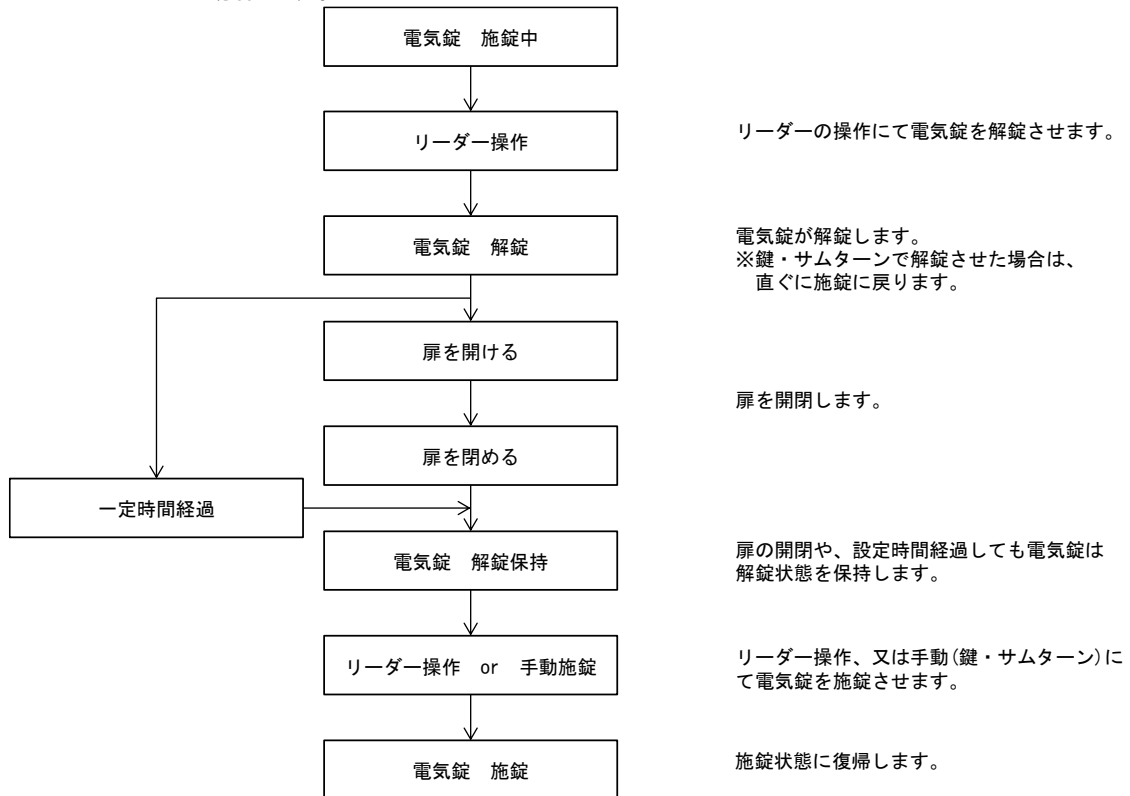


図4-2. 動作モード2

(2) 下記の状態中の施錠操作は無効とされ、解錠状態を保持します。

- 1) 外部解錠入力中
- 2) 電気錠が解錠・開扉中

(3) モード2では連続解錠時間設定機能は使用不可となります。

#### 4-3. 動作モード4

- (1) 警備セットを行うモードです。
- (2) 電気錠の動作は、基本的に動作モード1と同じ自動施錠となります。  
ただし、以下の動作は異なります。
  - 1) 警備セットが開始すると、連続施錠状態中であっても施錠されます。
  - 2) 連続解錠時間帯になっても、解錠操作を行わないと連続解錠は開始されません。
- (3) 同じアクセスコントローラーで制御しているゲートでは警備グループの設定をすることで、グループに設定されたいずれかのゲートで警備セット/解除操作を実施すると同グループで設定された複数のゲートも同様に警備セット/解除することが可能です。
- (4) 警備セット動作の流れ

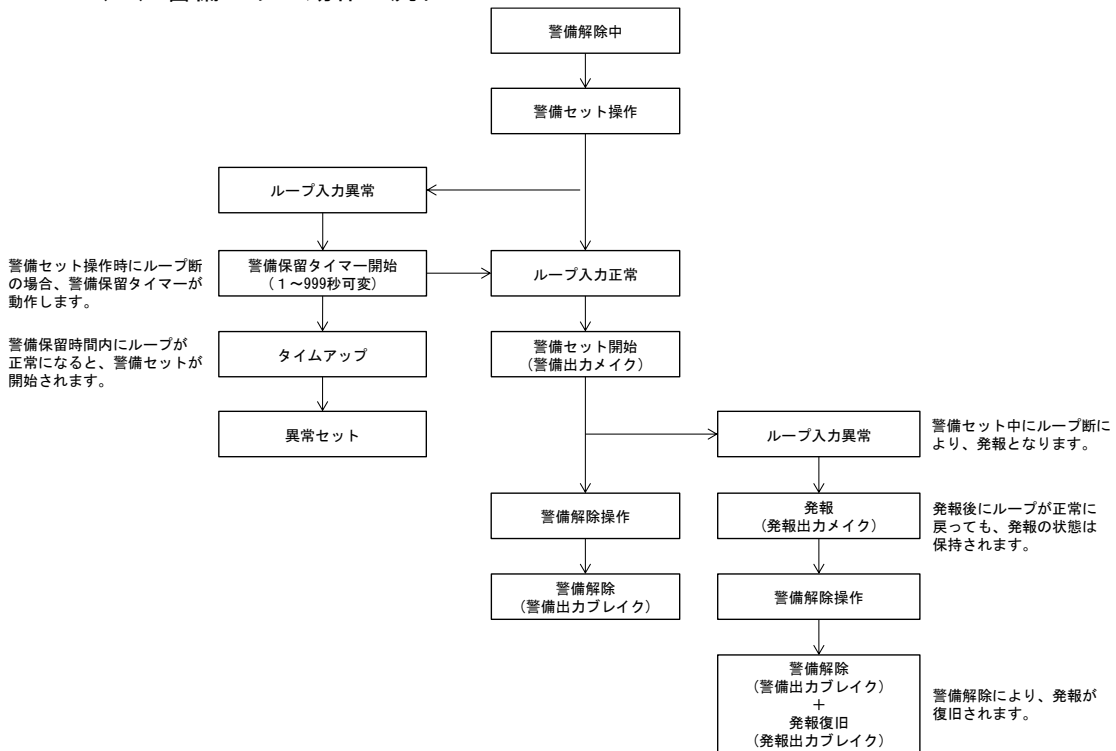


図4-3. 警備セット／解除の流れ

- 1) 警備セット操作時に、ループ入力が異常の場合、警備保留タイマーを設定している場合はタイマーが起動します。  
警備保留タイマー内にループ入力が正常になると警備セットとなります。  
警備保留タイマー内に、ループ入力が正常にならないと、異常セットとなります。
- 2) 警備セット中にループ入力が異常になると発報し、発報出力の接点が出力されます。警備解除により、復旧となります。

#### 4-4. 動作モード5

- (1) 2ゲートのインターロック動作が可能です。
- 1) 2ゲートのうち、一方の扉しか開扉させたくない場合の運用に用います。
  - 2) 一方の扉が解錠または開扉の状態の場合は、もう一方の扉のリーダーが操作禁止状態となります。
  - 3) 2ゲートとも施錠・閉扉の状態では、どの扉のリーダーでも操作可能となります。
- (2) 複数ゲートのインターロック動作も可能です。
- 1) 設定された扉の内、1つの扉しか開扉させたくない場合の運用に用います。
  - 2) 設定された扉の内、1つの扉が解錠または開扉の状態の場合は、設定された他の扉のリーダーが操作禁止状態となります。
  - 3) 設定された扉の全てが施錠・閉扉の状態では、どの扉のリーダーでも操作可能となります。

### 5. 警報について

#### 5-1. 警報の種類

- (1) 警報は以下の種類があります。

表5-1. 警報発生／復旧条件

警報の種類	発生条件	復旧条件
開扉警報	扉を閉め忘れた時 (連続解錠状態を除く)	扉が閉扉した時、又は新たに解錠操作を行った場合
コジアケ	電気錠が施錠している状態で、扉を開けた時	解錠操作を行った場合 (手動解錠は除く)
施錠不良	電気錠が施錠動作しない時	電気錠が正常に施錠した時
解錠不良	電気錠が解錠動作しない時	電気錠が正常に解錠した時
リーダー蓋開	リーダーが取り外された時	リーダーが取り付けられた時
リーダー通信異常	リーダーとアクセスコントローラーの通信が異常な時	リーダーとアクセスコントローラーの通信が正常に復旧した時

#### 5-2. 警報発生時の動作

- (1) 警報の発生時には以下の動作を行い、警報を知らせます。
- 1) アクセスコントローラー本体がブザー鳴動
  - 2) リーダーがブザー鳴動
  - 3) 警報出力 (警報発生中は連続メイク)
  - 4) 警報の履歴データを発生
- (2) 警報の種類により、動作は異なります。

表5-2. 警報出力

項目	本体ブザー	リーダーブザー	警報出力	履歴データ
開扉警報	○	○	○	○
コジアケ	○	○	○	○
施錠不良	○	○	○	○
解錠不良	○	○	○	○
リーダー蓋開	-	○	-	○
リーダー通信異常	-	-	-	○

## 6. アンチパスバック機能

- (1) 入退室の制限をより厳しくすることが可能です。
  - 1) 入室操作を行わないで入室した場合、退室操作不可となります。また退室操作を行わないで退室した場合、入室操作不可となります。
  - 2) 特定のゲートを通行しないと、そのゲートに関連するゲートが通れない設定も可能となります（ルートチェック）。
- (2) 本機能を使用するゲートには、入室側と退室側にリーダーが必要です。
- (3) アンチパスエラー発生時、電気錠を解錠する/しないの設定がゲートごとに設定可能です。
- (4) アンチパスバック機能は1ゲートごとや複数のゲートを1グループとして設定することが可能です。

## 7. 固定コード照合

- (1) 登録
  - 1) 使用する全カードに共通する読取位置およびデータ内容を登録することが可能です。
  - 2) 固定コードは3種類の登録が行え、それぞれ最大10桁まで登録可能です。
- (2) 照合
  - 1) 登録されたコードは下図の手順で照合を行います。
    - a. 固定コード1と2、1と3はANDの関係です。（両方がOKのときのみ固定コードが照合OKとなります。）
    - b. 固定コード2と3はORの関係です。（どちらかがOKであれば照合OKとなります。2種類の固定コードを使用可能です。）
    - c. 固定コード1から3まで全て設定していないときは照合OKとして判断します。

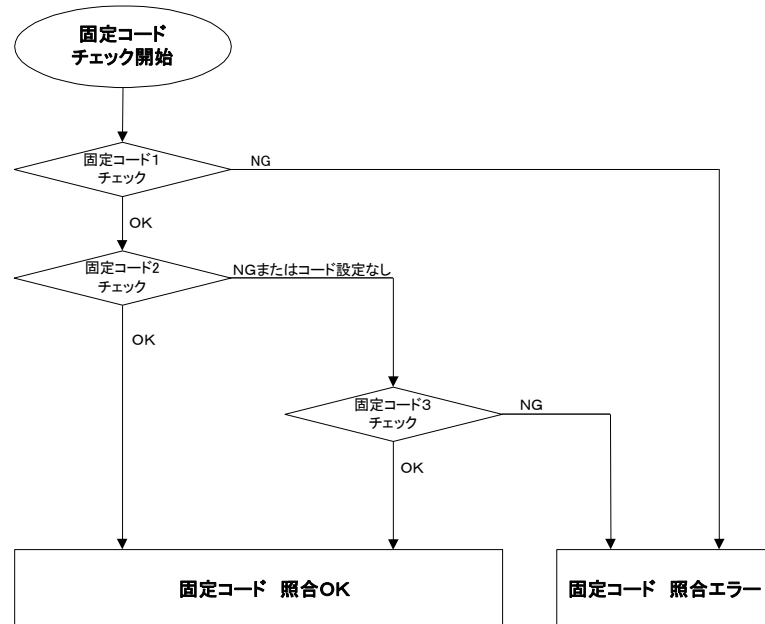


図7-1. 固定コード照合

## 8. 装置仕様

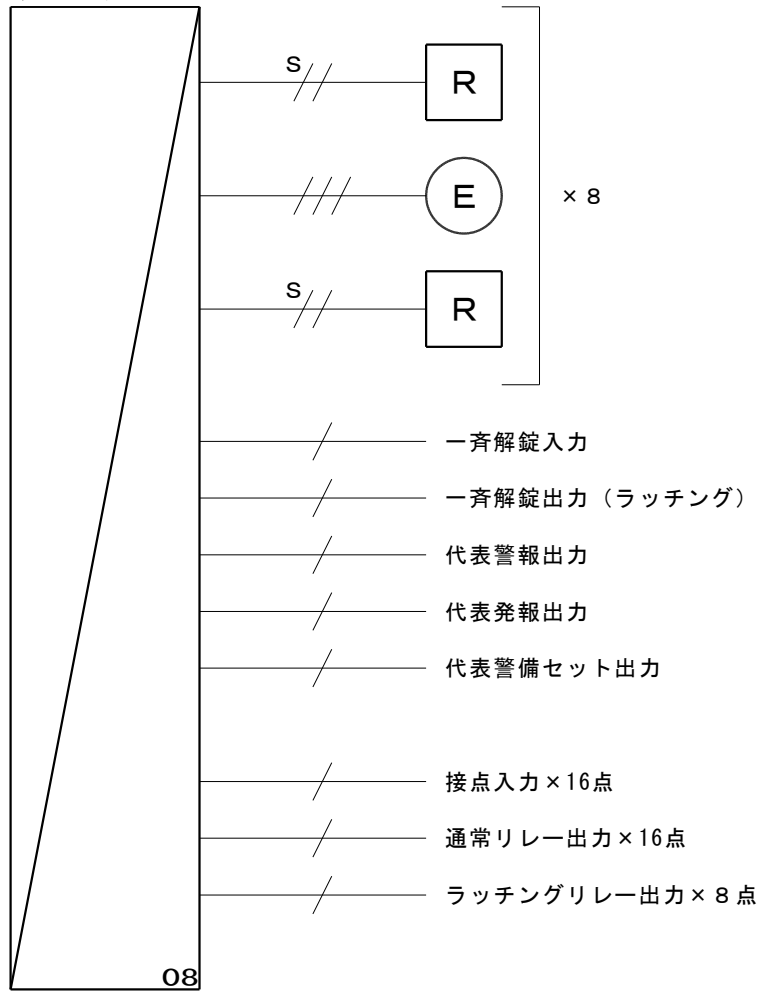
表8-1. 装置仕様

項 目		仕 様			
電 氣 的 仕 様	入力電源	AC100V±10% 150W			
	データメモリ	MMC(外部記憶媒体)			
	データ入力方式	ハンディライター			
	ディスプレイ	LCD(液晶表示 20文字×4)			
	バッテリー	UPS 停電補償30分間			
	配線システム	<table border="1"> <tr> <td>端末装置</td> <td> 通信レベル RS-485  供給電圧 DC24V  伝送線 CPEVS 0.9  配線距離 配線総長 100m(max) </td> </tr> <tr> <td>電気錠 (入出力)</td> <td> 信号電圧 DC24V  信号線 CPEV 0.9  配線距離 配線総長 100m(max) </td> </tr> </table>	端末装置	通信レベル RS-485 供給電圧 DC24V 伝送線 CPEVS 0.9 配線距離 配線総長 100m(max)	電気錠 (入出力)
端末装置	通信レベル RS-485 供給電圧 DC24V 伝送線 CPEVS 0.9 配線距離 配線総長 100m(max)				
電気錠 (入出力)	信号電圧 DC24V 信号線 CPEV 0.9 配線距離 配線総長 100m(max)				
代 表 外 部 入 出 力	一斉解錠入力	連続メイク時解錠(接点容量 DC24V 0.3A以下)		1点	
	一斉解錠出力	無電圧a接点 一斉解錠時出力(接点容量 DC24V 0.3A以下) ラッチングリレー		1点	
	代表警報出力	無電圧a接点 何れかの回線で発報以外の警報発生時出力(接点容量 DC24V 0.3A以下)		1点	
	代表発報出力	無電圧a接点何れかの回線で発報発生時出力(接点容量DC24V0.3A以下)		1点	
	代表警備セット出力	無電圧a接点 対象の回線全てが警備セット時出力(接点容量DC24V0.3A以下)		1点	
外 部 入 力	点数	16点			
	接点容量	DC24V 0.3A以下			
	入力タイプ 右記から選択	一回解錠	ワンショットメイク時一回解錠		
		連続解錠	連続メイク時連続解錠		
		ループ	入力ありの時ループ正常		
読取禁止		メイク時読取禁止			
外 部 出 力	点数	通常出力：16点 ラッチングリレー出力※：8点			
	接点容量	DC24V0.3A以下			
	出力タイプ 右記から選択	開扉	無電圧a接点 開扉時出力		
		解錠	無電圧a接点 解錠時出力		
		警報	無電圧a/b接点 警報時出力		
		自動扉	無電圧a接点 解錠時出力		
		警備	無電圧a/b接点 警備セット時出力		
発報	無電圧a/b接点 発報時出力				

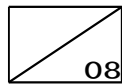
※ラッチングリレー出力は、アクセスコントローラーの電源がOFFしても状態を保持する出力です。

9. 系統図

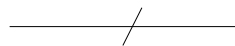
9-1. スタンドアロン



—凡例—



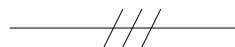
XA-08



CPEV 0.9-1P



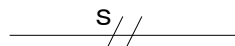
リーダー



CPEV 0.9-3P



電気錠



CPEVS 0.9-2P

図9-1. スタンドアロン

## 9-2. システム全体

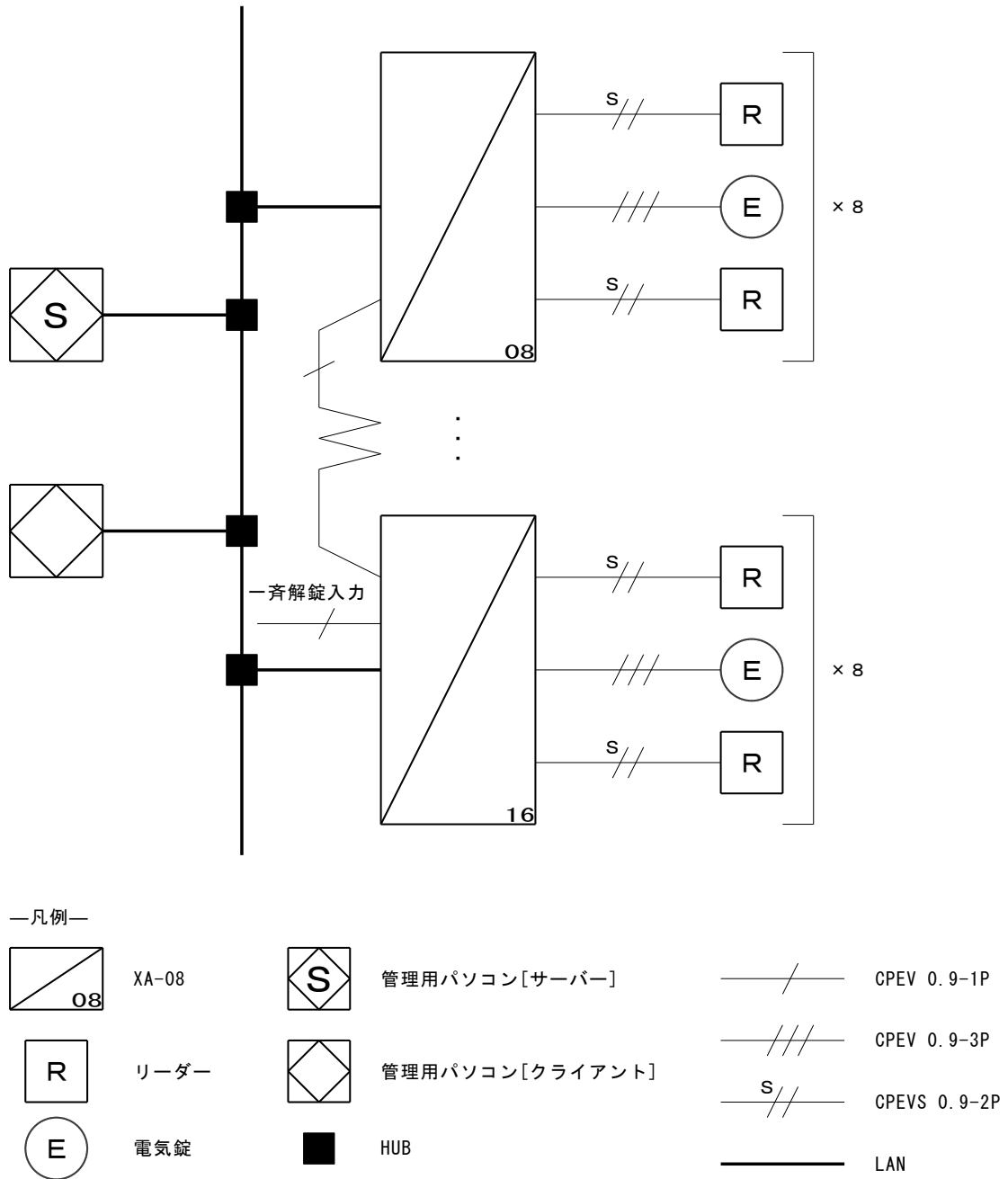


図9-2. システム全体

10. 改訂履歴

図番	内容	備考
S21023-01-22311	初版	